博多「場」文化通信

博多ば日記

2015.Autumn No.6
発　行：博多リバレイン
発行日：平成27年9月12日

大人男子、博多部活。

博多リバレイン
HAKATA RIVERAIN

大人男子、博多部活。

Otona danshi Hakata bukatsu

"カワイイ女子のまち"に隠れた
"イケ男(ダン)"の博多部。
博多祇園山笠のまちで、
生き方、仕事、遊び…と
本気(マジ)で楽しむ男子の
"人生の部活動"をご覧あれ。

古門戸町の
自由番長
Jiyu Bancho in Komondomachi

「カリスマ美容師です」と、笑いながらポーズを取る、オーナー美容師の渡邊友一郎さん・57歳。山口県の下関で生まれ、高校生でアフロに挑戦するなど自由で尖った青春時代を過ごし、全国を放浪の果てに博多に流れ着いた。29歳で独立、若者カルチャーを牽引した伝説の美容室「Gabba Gabba Hey」を経て、11年前にこの古門戸町で**"新たな基地"**を拓いたという。

「昔から古い町並みが好きで、散歩の途中に、倉庫だったここをみつけて、ぴんときたんです。風の匂いや季節の変化を感じて、通りを行く人の姿がみえるのもイメージ通りでした」。なつかしく開放感あふれる空間に、磨き抜かれたステンレスの扉、試験管でつくられたシャンデリアなど、「アート」のセンスが見事に融合。ファッション関係者やクリエイターから、近所のご年配の方まで幅広い客層が特徴だ。「10年とか20年以上通ってくださるお客さんもいて光栄です。昔から変わらないのは、**その人らしく髪を楽しんでもらうこと**。きれいな白髪を生かして若い頃にできなかった髪型を楽しんだり、素敵なくせ毛のカールを生かしたり。ピンクやグリーンなど可愛い色、きれいな色に挑戦するのも大歓迎です」。

この柔軟な感覚は、夏に浴衣で営業したり、展示会やライブ会場として空間を提供する…といった日々の仕事スタイルにも表れる。「博多らしいつながりのなかで、技術的にも店としても『**NYやパリでなく、博多でやれる**』と若い人が憧れる店に育てたいんです。これから60代、70代で、どこまでやれるか楽しみですね」。先輩男子の挑戦は、まだまだ続く。

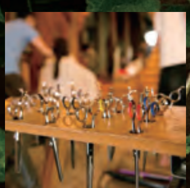
NYやパリでなく、博多でやれる。

昭和初期につくられた愛用の自転車と、階段の鉄アーティストの装飾が空間のイメージを決定したアイコン。

シャンプーなどの液剤もそのままでなく、フォルムや色が魅力的な瓶に入れてしまうという遊び心と美意識。

HAIR DESIGN GRAM

自由でありつつ手入れが行き届いた空間は、まさに渡邊イズムの真骨頂。コンクリートに生える植物もご愛嬌。



Hair Design Gram
福岡市博多区古門戸町7-22
☎092・262・6626
営業時間／11:00～20:00
休／月曜

中洲川端の上質番長

Joshitsu Banchou in Nakasukawabata

中洲の一角、アパルトマンを思わせる空間に、知る人ぞ知るブランドの世界が広がる。その名は、「MateriaL」。海外の一流メゾンのコレクションも支える職人やファクトリーと提携して、〈完璧な一枚〉と評されるオーダーシャツを仕立てるアトリエ兼〝本店〟だ。

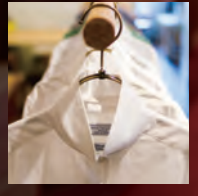
「朝8時頃には来て、デザインを書いたり、縫製の仕上げをしています」と笑うのは、オーナーの田中龍也さん。**子どもの頃から服が好きで**、セレクトショップでの勤務を経て、「半年間で12kg太った」ときに転機が訪れた。「サイズがないから、職人さんにデザイン画を書いて一緒に作るうちに、**服に人でなく、人に服をあわせる発想**に気付いたんです」。さっそく、アメリカの縫い方、イタリアのカッティング、イギリスのステッチ…と各国の特徴を落とし込み、縫製の原型をつくった。「デビュー作は白のボタンダウン。一人暮らしの部屋にお客さんを招待しました。売れた喜びで、あとはもう道をまっしぐらです（笑）」。

立ち上げから12年。ブランドの進化に伴い、全国の展示会への招待、紹介による問合せや注文、「ステッチをみただけで会いたいと思った」と信頼を寄せる職人との出会いなど、一つひとつ次の扉が開いていった。現在のビルに入居する際は、中洲のまちで人望の厚いオーナーに、「一見さんお断り」の職人さんを紹介され、新たな縁も広がった。今は、タグに入れた「Made in Hakata」の文字に、改めて思いを込める。**「背伸びをせずに、土台をきっちりつくっていきたい」**と語るまっすぐで爽やかな笑顔は、まさに大人になった「男子」のそれだった。

アトリエの壁には、アイデアを書き留めたメモやお子様からの手紙。「相棒」と呼ぶミシンとともに、毎日が楽しい挑戦の日々。

ボタンホール裏の糸の飛び出しまで丁寧に始末していく。「みえないところ、細部こそ大切」と、愛と情熱あふれる仕事を貫く。

MATERIAL



MateriaL

福岡市博多区中洲5-1-20東京堂ビル5F
☎092・282・7777
営業時間／13:00～19:00
休／日曜

全国から「ここでシャツをつくる」ために訪れる人も多い。「生地選びから一つひとつ、何でも気軽にご相談ください」。

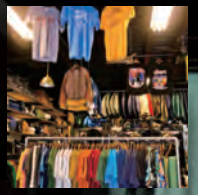
Made in Hakataで、
一歩ずつ、夢に近づく。

本気のアメリカの服を、博多で届けたい。

県道602号線沿いに、ひときわ目立つ店をみつけた。スタッフ私物のバイクが並び、「WORK PEOPLES INN」と骨太のペイントを掲げるここは、「作業着屋です」と店長の稲吉寛之さんが語る。「ファッションの服でなく、ウチにあるのはバイクに乗るため、作業をするための実用的な服。**アメリカでは身近にあるのに、日本にないからつくりました**」。中へ入ると、倉庫のような店内に「VANSON」「REDKAP」「PRISON BLUES」…と男子垂涎の商品が並ぶ。「ただ、最近は1年半位、買い付けに行っていないんです。工業化され、生地も粗悪になって『アメリカ、頑張れよ』と(笑)。日本の方が生地も縫製も優れているから、昨年、オリジナルのブランドを立ち上げました。1940年代から60年代頃の、**最高にカッコいい本気のアメリカの服**を伝えたいんです」。

原点は、10代の頃にリーバイスのCMで観たジェームズ・ディーンや映画の中の男たち。

「男臭い、汗臭い、地べたに寝転んでも平気で、洗い込むほどに味が出てくる服にシビれ」20代でアメリカに降りたち、商品を見て回るなかで「本物」に出会ったのが転機となった。以来、リアルを追求し続け、その姿勢はWEB店舗で注文を受けた商品の発送を、委託せずに店で行う真摯さにも現れる。全国から訪れるお客さんと、バイクやサーフィン、クルマの魅力について語り合い、年2回、愛車でオールドカーレースに出場するのも楽しみだという。「**仕事も遊びも関係なく、今が最高に面白い**」とストレートにいえる生き方は、大人男子の本懐かもしれない。



WORKPEOPLES INN

福岡市博多区神屋町10-18
☎092・262・3288
営業時間／12:00～20:00
休／無休（年末年始・臨時休業あり）

ライダースはバイクに乗る姿勢で肩に合うか選ぶもの。店内の一台は、実際にレースでも活躍しているハーレーだ。

店内のプレートも稲吉さんがアメリカで集めてきたもの。プリキの飛行機や古いプラモデルなどのレア物も楽しい。

「ほどけた、擦れた、汚れたってだけで捨てるような服はココにはない(笑)。長く愛してくれる人、大歓迎です！」

神屋町の刺激番長

博多場のまつり
「秋」の遊ばんば！

秋の博多を満喫！「博多秋博」

ライトアップされた承天寺の洗濯庭。

博多秋博
10月1日(木)～11月30日(月)
www.hakata-akihaku.com

博多リバレインも会場となる10月17日(土)「博多灯明ウォッチング」や10月25日(日)「博多ハロウィン」をはじめ、11月19日(木)～23日(祝)には博多の寺社をライトアップする「博多ライトアップウォーク」など、秋の博多はイベント三昧。詳しくは左記ホームページで！

楽市楽ba

美味しい、博多座。

芸術の秋ならば、しっとりと魅せる芝居に、聴かせる歌がいい。この濃密で特別な和情緒を惜しみなく与えてくれる博多座だが、時は秋。芝居の幕間に楽しむ弁当や、併設レストランでの本格料理にはことさらこだわりたい。「レストラン花幸」では、目にも鮮やかな色とりどりの惣菜弁当や、会席・割烹と、品格漂う秋の美味を数多く揃えている。その内容も、旬の素材を吟味、公演によってメニューを変えるなど、筋金入りだ。一流の舞台には、一流の味を。目も舌も、そして心も愉しませてくれることだろう。

200席の店内もあっという間に満席に。レストランも弁当も前もっての予約がスマート。

上：人気のメニュー
「百合」2,680円(税込)
下：「牡丹」3,200円(税込)
＊料理例

レストラン花幸
福岡市博多区下川端町2－1 博多座4F
☎092・263・1881
弁当／電話または来店で予約
レストラン／満席になり次第〆切
営業時間／公演により異なる

福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum
☎092・263・1100
福岡市博多区下川端町3－1
リバレインセンタービル7・8F
http://faam.city.fukuoka.lg.jp

博多座
☎092・263・5858
福岡市博多区下川端町2－1
http://www.hakataza.co.jp

Hotel Okura
FUKUOKA
☎092・262・1111
福岡市博多区下川端町3－2
http://www.fuk.hotelokura.co.jp

HAKATA RIVERAIN MALL
博多リバレインモール
☎092・271・5050
福岡市博多区下川端町3－1
http://www.em3.jp

博多リバレイン通り商店街
福岡市博多区下川端町
http://www.riverain.co.jp

博多リバレイン Hakata Riverain
http://www.riverain.co.jp

Hakata Riverain Event Schedule

博多座

光る！円熟の演！

9月

石川さゆり特別公演

○9/5(土)～28(月)

博多を舞台に繰り広げられる恋模様

実に6年ぶりとなる、石川さゆりの特別公演は、お芝居と歌の二本立て！ 第一部「はかた恋人形」では、博多人形を世界に知らしめた、人形師・小島与一の妻・ひろ子を演じます。時は大正、激動の時代。才能ある人形師の与一と、与一が惚れ抜いたひろ子の二人の恋物語がドラマチックに描かれます。第二部のオンステージではデビュー40余年のヒット曲を博多公演ならではの演出でお楽しみください。

10月

Endless SHOCK

○10/7(水)～31(土)

ミュージカル単独主演記録日本一の衝撃をもう一度！

昨年、「ミュージカル単独主演記録日本一」を達成したのも記憶に新しい『Endless SHOCK』が博多座に戻ってきます。ブロードウェイを目指す若きエンターテイナーを主人公にしたこのミュージカルも今年で15周年！ 華麗なダンス、フライング、演舞にイリュージョンと、まさに衝撃ならぬ「ショー・劇」の舞台です。

11月

三匹のおっさん

○11/5(木)～26(木)

累計150万部の大ベストセラーついに舞台化

作品が続々と映画化、ドラマ化される人気作家・有川浩の累計150万部を超える小説シリーズがついに舞台化。松平健、中村梅雀、西郷輝彦の3人が、家族に内緒で私設自警団を結成する還暦の「おっさん」を熱演します。ご近所で起こる事件を解決し、そこから夫婦や親子、街の人々の絆が深まっていく…、そんな、笑いあり涙ありの人情喜劇です。

○場所＝博多座
○休館日＝公演により異なる
○問＝☎092・263・5555(10時～18時)
http://www.hakataza.co.jp/

博多リバレインモール by TAKASHIMAYA

オトナノ、ヨロコビ。

10/7(土)オープン予定

ナンバーワンのコーヒーの味を

日本全国のコーヒー通の間で名を轟かせている店が、実は、この福岡・大野城にあります。それが「豆香洞コーヒー」です。オーナーの後藤直紀さんは「ワールドコーヒーロースティングチャンピオンシップ2013」で世界一に輝いた人物。世界中から仕入れた最上級の豆を確かな技術で見極め、数度にわたる手選別を経て、味をデザイン。徹底した商品管理により新鮮な状態で提供してくれます。博多リバレインモール店では本店横の工房で焙煎したコーヒー豆の販売を中心に、ギフト商品も充実。イートインもでき、世界一の味をお楽しみいただけます！

世界一のトロフィー。これ以外にも資格や受賞歴も多数。

オーナーの後藤直紀さんは福岡のコーヒー界を牽引する一人。

豆香洞コーヒー
○場所＝博多リバレインモール by TAKASHIMAYA B2F
○営業＝10:30～19:30

童心に帰る！夢中で遊ぶ！

6月にオープンした「ボーネルンドあそびのせかい」内の「キドキド」は〝親と子〟が思いきり遊べる室内あそび場。たくさんの遊具があるけれど、どうやって遊んだらよいかわからない…そんな時は「おとなのキドキド」がおすすめ。大人も夢中になって、あそびを本気で体験してみよう！という企画です。

プレイリーダーが教えてくれるのは、からだを使ったあそびやブロック遊びなど。全身で心の底から、遊ぶ楽しさを再確認すれば、「親と子で遊ぶ」喜びにもつながります。実施は、毎月第一金曜日の営業時間終了後。帰りにもらえる招待券で、今度は子どもと一緒に学んだあそびを体験してみては？

プレイリーダーの指導でゆっくり身体を動かしていく。

ブロックのあそびにじっくり挑戦。

ボーネルンドあそびのせかい タカシマヤ キッズパティオ 博多リバレインモール店
○場所＝博多リバレインモール by TAKASHIMAYA 2F
○営業＝10:30～19:30
（「おとなのキドキド」は第一金曜20:00～21:00）
○問＝☎092・291・0125
（「おとなのキドキド」は要電話予約／500円税込）

HOTEL OKURA FUKUOKA

オールデイ、ホテルクオリティ。

新たなダイニングのステージへ

「ホテルオークラ福岡」開業から早17年目。ホテル直営1Fダイニング、バーが春より次々と改装を重ね、いよいよ今夏、「オールデイダイニング カメリア」が新装オープンを迎えました。朝食(和洋)、ランチ(洋)、そしてディナーには和洋に中華も加わる多様なスタイルを実現！選び抜いたこだわりの食材はハイパフォーマンスを極める一方で、ハンバーグやスパゲッティといったアラカルトにも手抜きはありません。126席のゆったりとした空間に姿を変え、ホテルを訪れるお客さまの一日を、優雅にエスコートいたします。

子ども連れのお客さまも大歓迎。

使いこなせる！コストパフォーマンス

大切にしたいのは〝ライブ感〟。和洋中の三人のシェフがお客さまの目の前で腕をふるいます。時には、ブッフェとはいえ《本日の魚料理》を尾頭付でいただけるようなサービスもこのスタイル、ホテルならでは。また、ホテル内の醸造所「オークラブルワリー」からは3種のクラフトビールも飲み放題コース（1500円）に加えられる贅沢さ。このハイクオリティを街場のプライスゾーンで楽しめるとあって、連日満席が続いています。最後は自慢の「デザートセレクション」へ。作品と呼ぶにふさわしい宝石のようなショコラやホテル自慢の極上スイーツがズラリ。本物志向を極めたオールデイダイニングが、ここに誕生です。

「出来立てをすぐに」が魅力のライブキッチン。

オールデイダイニング カメリア
○場所＝ホテルオークラ福岡1F
○営業＝6:00～14:30、17:30～22:00、土曜・日曜・祝日6:00～22:00
朝食ブッフェ　6:00～10:00(大人2,900円／税サ込)
ランチブッフェ　11:30～14:30(大人2,600円、土曜・日曜・祝日2,900円／税サ込)
ディナーブッフェ 17:30～21:30(大人4,000円、土曜・日曜・祝日4,500円／税サ込)
○問＝0120・262・993　☎092・262・1143

福岡アジア美術館

別世界への誘い。

一粒の希望―土地は誰のもの?!

アジアの大地は昔から人々の生活や伝統文化を育む豊穣な土地であった一方、16世紀以降は、西洋からの植民地的侵略や近年の大規模開発により、古来の土地が奪われてきたという側面もあります。インドネシアのアーティスト兼活動家集団《タリン・パディ》の木版画を中心とした社会的メッセージの強い作品を通し、グローバル化に翻弄される人々と、土地をめぐる問題を考えます。

アグス・スワゲ(インドネシア)「サイチョウと宣教師」1988年

フシギ？の世界―ここではないどこかへ

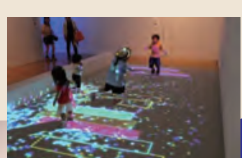
日々過ごしている当たり前の毎日がどこか違って見える！まるで魔法の世界に入り込んでしまったかのような不思議な絵の数々や、視覚的に惑わされるようなゆがんだ世界の作品など、約50点を展示します。ちょっとヘンテコで、ちょっとゾクッとするような…なんだか不思議な絵の世界に迷い込んでみませんか？

ツェレンナドミディン・ツェグミド(モンゴル)「キャラバン」1994年

○会期＝9/3(木)～12/15(火)
○場所＝アジアギャラリー
○料金＝一般200円(150円)、高大生150円(100円)、中学生以下無料
※二つの展覧会あわせての料金
※( )内は団体料金

魔法の美術館 光と影のワンダーランド～見て、触れて、遊ぶ～

従来までの「見る」展覧会を超えて、「触れて」「遊ぶ」ことができる作品を集めた体験型の展覧会が行われます。新しい素材や最新の技術を使った作品が並び、なかには双方向型の技術を用いた、自分が作品の中に入り込んだような感覚になるものも！子どもから大人まで《魔法》にかかったように夢中になれること請け合いです。



○会期＝9/7(月)～10/18(日)
○場所＝企画ギャラリー
○料金＝一般1000円(800円)、高大生800円(600円)、小中生500円(300円)※( )内は団体料金

旨店楽印

カラダにいいアジ・「毎日に滋味と美味を」

『穀物屋』は日本初の穀物専門店。雑穀・米・小麦粉・豆類と、その取扱いは約300種。レシピの紹介や、買い上げた玄米(1kg以上)をその場で〝低温精米〟するなど、食の基本となる穀物をふだんの料理においしく取り入れる手助けをしてくれる。

一方、隣接の姉妹店『高砂屋』はそら豆を主とした豆菓子店だ。どれも新鮮な油と揚げたてすぐに味付けすることでサクッとした食感が生まれる絶品。フレーバーは常時20種あり、オレガノやバジル味のハーブそら豆も好評。看板は「粉ふき黒糖そら豆」。

カウンターには豆菓子がずらり。4週間日持ちするものがほとんどでお持たせに最適<高砂屋>

精米時の熱が上がりにくい低温精米のスペースを設えた<穀物屋>

NEW OPEN!

高砂屋／穀物屋

福岡市博多区下川端町3-1
博多リバレインモール1F
高砂屋／☎092・260・3817
穀物屋／☎092・260・3816
営業時間／10:30～19:30
休／館と同じ

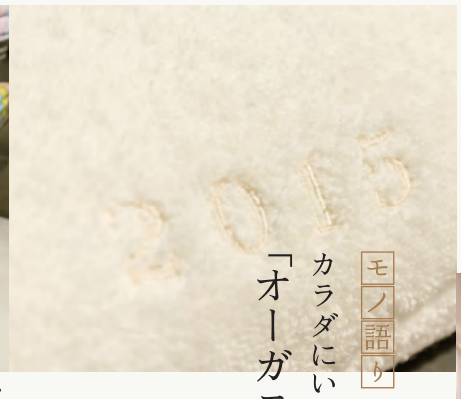
(右)粉ふき黒糖そら豆はカウンター内の煎釜で黒蜜ときな粉をまぶす仕上げをしてくれ、格別の風味<高砂屋>

(左)できあがった粉ふき黒糖そら豆 丸箱(600円税込)<高砂屋>

食物繊維ブレンド(1,000円税込)<穀物屋>

モノ語り

カラダにいいモノ・「オーガニックを超えて」



安全かつ生活に彩りをもたらすイケウチオーガニックのタオル。肌触りや吸水性などもそれぞれ。コットンヌーボー2015も。

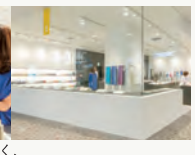
愛媛・今治タオルの専門店『イケウチオーガニック』において、オーガニックとは《前提》である。フェアトレードに風力発電での生産と、最大限の安心と最小限の環境負荷でのタオルづくりを掲げ、中でも、年々異なるオーガニックコットンの風合いを、個性と愉しみ作られた「コットンヌーボー」は世界でも愛されるシリーズ。ストアには他シリーズやベッドリネンなども勢揃い。パフォーマンスを越えたラボ感覚の店づくりは福岡でもレアな取り組みで、暮らしに気づきを与えてくれる。

NEW OPEN!

IKEUCHI ORGANIC(イケウチ オーガニック)
FUKUOKA STORE(フクオカ ストア)

福岡市博多区下川端町3-1
博多リバレインモール1F
電話092・281・7708
営業時間／10:30～19:30
休／館と同じ

洗濯後のタオルを比較できるのもうれしい。



使い心地を試すだけでなく、好みのタオルの相談も可。

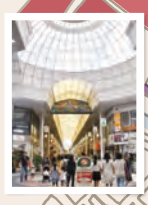
博多通り紀行

冷泉―「博多川端」商店街―老舗もがんばるおもしろ商店街

通りに刻まれた、博多の今昔物語。

博多リバレインの正面からキャナルシティ博多の方へ400mに渡ってまっすぐ伸びるアーケードは、博多で最も古いといわれる商店街「博多川端」。地方都市ではシャッター街化する商店街が多いなか、ここには創業100年以上という老舗や最近オープンした飲食店など、新旧のユニークな店が個性を競い、買い物客や観光客で賑わっている。

11月15日(日)～20日(金)に行われる誓文払いは、恒例の秋の大売り出し。下川端の漬物商だった八尋利兵衛が大阪の蛭子市の賑わいをヒントに明治12年に実施した「誓文晴れ」がその始まりで、そのお膝元といえる川端商店街では、買い物客各店先着20名に新米1kgなどが当たる「えびすくじ」を実施する。

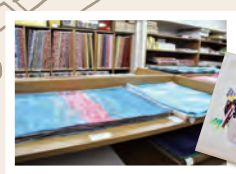


A 今や商店街のマスコット的な存在になった「お仏壇のはせがわ」本店の店頭に立つ「縁結び童子」。奈良県のマスコット「せんとくん」のデザインで知られる籔内佐斗司氏の作で、童子にちなんだおみくじはなんと無料！

B 「ん(運)」のつく野菜を食べて運を呼び込むという冬至の縁起担ぎにかけて、野菜の餡を使ったオリジナルの饅頭(8個1998円)やどら焼き(8個1360円)を販売する『博多運盛』。ちょっと気の利いた博多土産やお茶請けとして喜ばれそう。

C 「松田ネーム刺繍店」はその名の通り、制服などに入れるネーム刺繍の専門店。仁和加面風の刺繍を施したキャップが博多土産として大人気に。最近は印刷会社とコラボした兜型のキャップ(6500円～)も登場！

D 須崎から篠栗に移転していた豚骨ラーメンの老舗『三九ラーメン』が2年ぶりに博多に帰ってきた！ 濃厚ながらまろやかなスープは以前のまま、店舗が新しくきれいになっているので、女性でも安心して食べられる。ラーメン500円。



E 浅草橋に本店をもつ和紙の専門店『田中和紙福岡店』。といっても、支店はここ福岡のみ。民芸用の華やかな紙が中心で、クラフト愛好家の利用が多い。初心者向けの材料セットもあり、写真は来年の干支・申のくるみ絵1500円。